

# 令和4年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議事録要旨(HP公開)

1	日 時	令和5年1月18日(水) 16:00~17:15
2	場 所	八雲町立図書館 二階 集会室
3	出席者	—委員—
		会長/伊藤 一年 副会長/渋谷 智実
		委員/浅井 久司・太田 幸恵・小林 幸子・山中 久江
		※欠席者なし
		—事務局(八雲町教育委員会 八雲町立図書館)—
		教育長/土井 寿彦 館長/佐藤 真理子 職員/管理係長 笹田 幸男・奉仕係主任 藤本 陽子
4	議事録要旨	(開会)
		(教育長挨拶)
		(伊藤会長挨拶)
		報告第1号 令和4年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について(議案P. 3~4)
		【事務局】▶統計値に基づき概要説明→質疑なし。
		報告第2号 令和4年度 八雲町立図書館 施設利用状況について(議案P. 5)
		【事務局】▶統計値に基づき概要説明→質疑なし。
		報告第3号 令和4年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について(P. 6)
		【事務局】▶令和4年12月末実施済み及び年度内実施予定の事業について概要説明→質疑なし。
		報告第4号 令和4年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について(P. 7)
		【事務局】▶応募状況、審査結果について概要説明→質疑なし。
		議案第1号 令和4年度 八雲町教育委員会事務事業(令和3年実施分)評価について(P. 8~11)
		【事務局】▶評価対象事業(下記①②)について概要説明の上、評価を仰ぐ。 【委員】▶①「遠隔域移動図書巡回サービス事業」→担当課評価検証結果と同じく「A」評価 【委員】▶②「出前読み聞かせ事業」→担当課評価検証結果と同じく「A」評価 ※「A」評価…現状にて事業を継続または拡充
		〈①について〉 【委員】▶巡回先の小学校の一例としては、選んだ図書をスクールバス乗車中に楽しんでいる児童も見受けられる。今後も図書提供に向けて継続して欲しい。
		〈②について〉 【委員】▶小学生の児童に携わる機会があり、本の読み聞かせを呼び掛けると積極的に聞き入ってくれる。主体的な読書に向き合わせていくステップとして、読み聞かせは本に親しみ興味を持たせる機会となるので継続して行って欲しい。
		議案第2号 「第2次 八雲町子どもの読書活動推進計画」の素案について(P. 12~13)
【事務局】▶策定に先がけて計画素案の概要を説明。意見を仰ぐ。 【委員A】▶学校図書館(室)について、司書教諭の配置・図書購入費に関してわかる事があれば参考までお聞きしたい。 【委員B】▶(学校関係者として事務局に代わり回答)一校毎に司書教諭が配置されている現状ではないが、学校図書館(室)担当の先生は配置されているので管理ほか図書館との窓口としても対応されている。各校図書購入費も充てられているので、校内で児童の声も参考にしながら選書を行っている。 【事務局】▶道内では各学校に図書館司書を配置している自治体もある。町としては図書購入費を予算化しているが学校図書館図書標準を満たすことが難しい状況もある。 現在1人1台端末を調査ツールとして利用しているが、紙による図書が今後どうなっていくか注視していく。 【委員B】▶パソコンなどで本を読む事もお金がかかる。学校では本を通して直接的な交流も生まれる。委員会活動などでも本を活用している。 【事務局】▶子どもが主体的に本に関わるように足を運び、本を借りていくようになればと考えている。  ※素案概要・方針について各委員より了承を得る。 (併せて後日意見等があれば照会を受ける猶予期間を設ける。)		
議案第3号 令和5年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について(P. 14)		
【事務局】▶令和5年度第57回開催に先駆けて、審査委員2名を依頼したい旨説明。 →前回に引き続き、「小林幸子」「山中久江」両委員より了承の意向あり、依頼する事とする。		
その他 全体を通して		
【事務局】▶子どもの読書活動推進計画については再度お持ち帰りの上、お気づきの点などあれば遠慮なくご連絡いただき、ご意見を踏まえながら練り直しを進めて参りたい。		
5	閉 会	